

# 夜間学校 ニュース

1987年 1月30日  
西成区萩之茶屋2の  
8の9 旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を

みんなでつくろう

みんなの 会館

三人よれば何とかの知恵

アンケート報告は続く

全国各地から そのうち

外国からも 釜ヶ崎へ

年末年始のアブレ支給時  
間に、転安前のフロアーで  
アンケート調査をおこなつ  
たことは、もう何回も報告  
している。今日も報告の続  
きを……  
先週の夜間学校へ初めて  
顔を見せた仲間が、こんな  
ことを言った。  
「わしは大阪の天六で育つ  
た。大阪は地元せ、だから  
街をよぶようなことはな

うせん。釜がきたないのは  
他から来たモンが多いから  
せろい。  
最近の釜は、そんなにき  
たないとは思えない。(ま  
めにソウジしてくれてる人  
々に感謝) また、よそか  
ら来てるモンが多いから街  
がきたなくなる、こいつの  
はうなづけない。キタナク  
なるについては、他の理由  
があると思つ。

出身地	全体	7万台	6万台	5万台以前
九州	41人 (30.1%)	13人 (21.3%)	21人 (42%)	7人 (28%)
中国	13人 (9.6%)	6人 (9.8%)	5人 (10%)	2人 (4%)
四国	8人 (5.9%)	4人 (6.6%)	1人 (2%)	3人 (12%)
近畿	39人 (28.7%)	23人 (37.9%)	10人 (20%)	6人 (24%)
関東	8人 (5.9%)	1人 (1.6%)	4人 (8%)	3人 (12%)
東北	6人 (4.4%)	4人 (6.6%)	2人 (4%)	0人
中部	8人 (5.9%)	5人 (8.2%)	1人 (2%)	3人 (12%)
北陸	6人 (4.4%)	3人 (4.9%)	2人 (4%)	1人 (4%)
北海道	4人 (2.9%)	1人 (1.6%)	3人 (6%)	0人
他	1人 (0.7%)	0人	1人 (2%)	0人
無回答	3人 (0.2%)	1人 (1.6%)	0人	2人 (8%)

136人

61人

50人

25人

平均在釜55年

平均在釜6.6年

平均在釜11.2年

ただ、左の表を見てもわ  
かるように、全国から多く  
の仲間がきていることは確

かた。  
実例を示す。今回は建  
築・土木一筋の仲間たちだ。

北海道から！

★釜ヶ崎に十五年前に来た四五才の仲間。中学校卒業後、北海道で漁業に従事しながら日雇仕事をしていたが、事情があつて出てきたという。(親の職業・漁業)

★北海道の尋常小学校を卒業した五四才の仲間は、卒業後、腕に職をつけようと大工の貝習いになった。北海道では鬼つようになつた。

★請けで仕事をしていたが、東京方面での仕事が少ないので、昨年二月に釜に来て。現在は仮ワク大工として働いている。(親の職業・土建業)

★九州から！

★鹿児島県は種子島出身の五五才の仲間は、高等尋常小学校卒業以来、ずうつと日雇で仕事を各地を歩いてきたが、四年前に釜ヶ崎に来ている。(親の職業・農業)

★熊本県出身の三三才の仲間

は、高校卒業後、バラシヤになり、五年前に釜に来ている。

★他には！

★岩手県の中学校を卒業した五三才の仲間は、卒業後、岩手県の建設会社で常用で働きはじめたが、九州に行った知人を頼つて八幡へ。移つた会社が大阪での仕事を請けたのにもなつて大阪へ来た。友達がシンナーを吸つて家で火事をだしかけたので、一緒に居ることそのうち焼き殺されると三年前釜に来た。(親の職業・製糖業)

★大阪の中学校を卒業した四五才の仲間も、最初は常用で建設会社で働いていたが、会社をかめるうちに日雇となり、六年前に釜に来ていた。(親の職業・大工)

★現在と同じ時間にセンターに集つてアプレをもらつている仲間も、話を聞けば、北海道から来た仲間。南の方ははるか種子島から来た仲間。釜に来た時期も十五年前から昨年まで様々だ。しかし、今回紹介した仲間は、いずれも土木・建築業界一筋に働いてきたという点では共通している。また、三三才の熊本出身の仲間をのぞいて、学歴、親の職業に共通するものがある。

二のような仲間、卒業後、この道一筋という仲間は、おおよそ釜の労働者の三割ぐらゐを占めていふと思われが、二二四、五年前からは各地方で土木・建築の仕事が減つていふことから、大阪へ来る人が多くなつていふので、もう一、二年するところの割合はもう少し増えるものと見られる。

★先週の夜間学校に、もう一人初級の仲間が来た。その仲間が

いうには、「日本の各地からきてるだけではなく、外国からも来ていふ。この前働いた飯場には十五人のフィリッピン人労働者がいた。四千円でメシ代千五百円というこたつた。——さつそくその飯場を見、近くの工事現場を見、てまわつたところ、一ヶ所でビデ足場をバラしているフィリッピン人労働者をみかけた。外国人労働者といえ、在日朝鮮、韓国人労働者もいる。今回のアンケートに協力してくれた仲間の一は朝鮮籍(朝鮮民主主義人民共和国海外公民)であること、外国人登録証を見せてくれた。五四才、尋常小学校卒業後、生野のゴム会社で働いた。オジヤンのもとで高専を卒業し、独立したが失敗。釜に来て十年にたるといふ。